

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 30 年度
1次評価日（主幹等）	31年3月29日
2次評価日（課長等）	31年3月29日

1 事業名	イルフプラザアミューズメント施設管理事業			コード	21203	
2 担当部課	部等	産業振興部	課等	商業観光課	作成者	大槻三男
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	商業の振興	
		予算科目	アミューズメント施設事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市中央町アミューズメント施設条例			

●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要（簡潔に）	アミューズメント施設、会議室の管理運営	
目的	対象者	施設利用者
	意図	施設利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、施設の適切な維持管理を行う。

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	30年度指定管理料 円
施設における通常業務	当該施設は、岡谷市含む5名の所有者が区分所有する施設。管理組合を設置し施設の管理を行い共有部分にかかる管理経費は、区分所有率によって負担し共益費負担金として管理組合へ支出している。建物内にあるミーティングルームを利用者が快適に利用できるように管理運営する。
事業の実施内容	(30年度に施設で行った運営事業・自主事業など) アミューズメント施設内テナントへの使用許可。 ミーティングルームの受付及び維持管理。
前年度の課題への対応	施設の巡回や点検を行うとともに、1階から7階階段非常照明修繕を行った。

6 施設の利用状況	*①は貸館施設のみ対象(ただし年間開設日数は入力) *②・③はどちらかの欄に記入 *			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 施設稼働率	18.6%	17.2%	15.9%	
年間開設日数(日)	365	365	365	366
1日の開設時間(時間)	16	16	16	16
年間利用可能時間(時間)	5,840	5,840	5,840	5,856
年間利用実績(時間)	1,086	1,007	928	
② 年間利用者数(人)	7,079	5,668	5,350	5,654
有料利用者数	6,357	4,909	4,850	5,126
無料利用者数	0	0	0	0
減免措置者数	722	759	500	528
③ 年間利用件数(件)	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	19.4	15.5	14.7	15.4
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	7,437,037	7,617,717	7,981,506	8,618,000
経常経費	7,437,037	7,617,717	7,981,506	8,618,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	3,280,000	3,280,000	3,280,000	3,280,000
正規職員の人数(人)	0.41	0.41	0.41	0.41
③ 合計コスト(①+②)	10,717,037	10,897,717	11,261,506	11,898,000
前年度比		101.7%	103.3%	105.7%
財源内訳	10,717,037	10,897,717	11,261,506	11,898,000
一般財源				
特定財源				
* 特定財源の説明				
④ 施設使用料年間収入額	7,457,150	6,739,590	6,696,140	6,758,000
⑤ 年間減免措置額	92,010	57,185	20,490	50,000
⑥ 受益者負担割合	101.5%	89.2%	84.2%	79.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	1,514	1,923	2,105	
前年度比		127.0%	109.5%	
⑧ コストに関する補足説明				

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	高い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。		1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。		1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。		1	

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。	有効性	標準
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。		1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。		1	
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 94.4%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 99.4%		0

●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善
<p>(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること)</p> <p>課題 法定点検や保守点検などを行う中で、設備の維持に努めているが、開館から20年以上が経過しているため、設備等の経年劣化や鉄材などの腐食が進んでいる。</p>
<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <p>改善方法 設備点検や巡回などを行う中で、危険箇所等を把握し施設を維持していく。</p>
<p>改善開始時期</p>

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	21203	イルフプラザアミューズメント施設管理事業
-----	-------	----------------------

1 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費	466,391		466,391	消耗品、電気料
役務費	11,942		11,942	火災保険料
負担金補助及び交付金	7,503,173		7,503,173	共益費負担金
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	7,981,506	0	7,981,506	

2 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.41		0.41
合計	3,280,000	0	3,280,000

人

円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
施設使用料	6,653,340		6,653,340	テナント等使用料
実費徴収金	42,800		42,800	ミーティングルーム空調費
			0	
			0	
			0	
合計	6,696,140	0	6,696,140	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	4,565,366	0	4,565,366

施設の運営コスト計算シート

事業名	21203	イルフプラザアミューズメント施設管理事業
-----	-------	----------------------

1 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

2 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00
合計	0	0	0

人

円

3 特定収入

単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

4 一般財源

単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0